

2026年12月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社CLホールディングス
(証券コード：4286)

2026年5月8日(金)

2026年12月期 第1四半期決算ハイライト

売上収益

8,311 百万円

(前年同期比 +7.9%)

営業利益

152 百万円

(前年同期差 +452百万円)

親会社の所有者に
帰属する四半期利益

128 百万円

(前年同期差+319百万円)

- 売上収益：マーケティング事業領域のプロモーション事業および流通エンタメ事業が好調に推移し、前年同期比で増収。
- 営業利益：収益性改善による売上総利益の増加が大きく寄与し、前年同期比で増益。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益：営業利益の増加に伴い、前年同期比で増益。

2026年12月期 第1四半期連結業績（前年同期比）

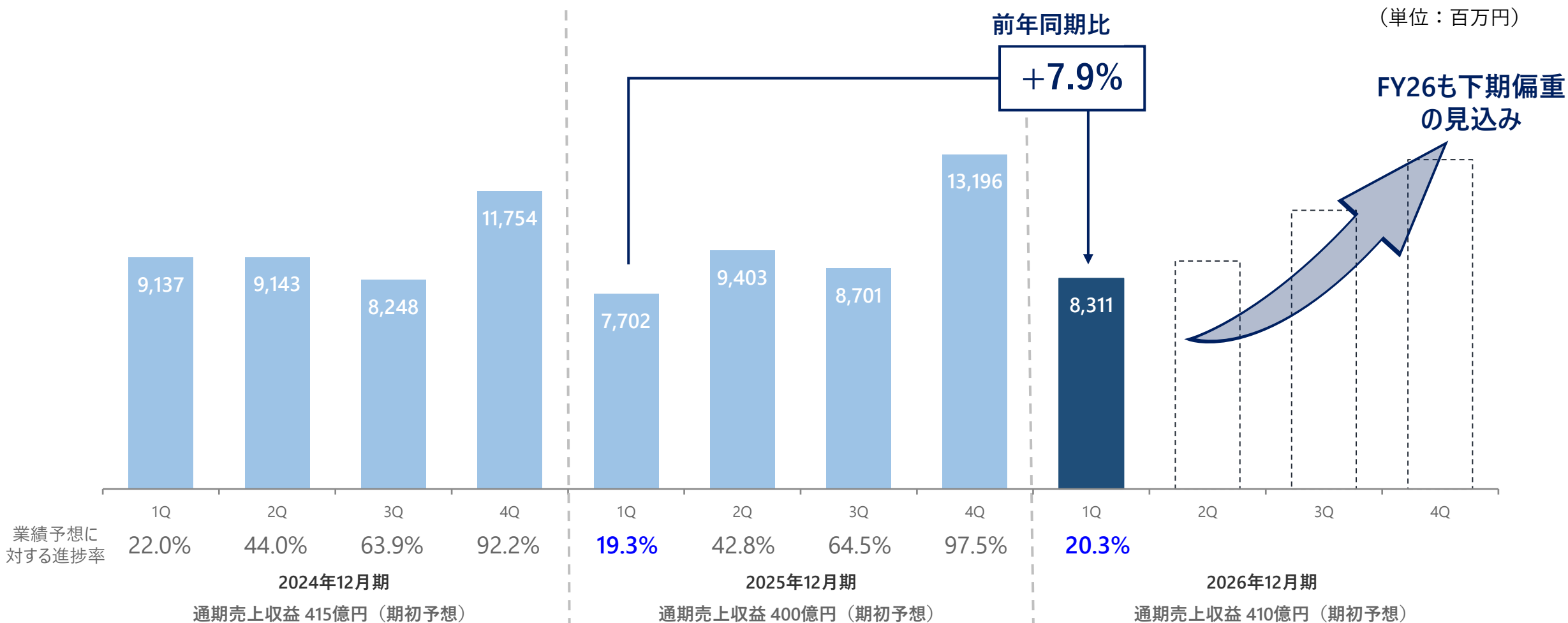
- 売上収益および営業利益はいずれも前年同期比で増収増益となり、概ね計画通りに進捗中。

（単位：百万円）

	2024年12月期 第1四半期		2025年12月期 第1四半期		2026年12月期 第1四半期		前年同期比	
	実績	(%)	実績	(%)	実績	(%)	増減額	増減率
売上収益	9,137	100.0%	7,702	100.0%	8,311	100.0%	+608	+7.9%
売上総利益	2,771	30.3%	2,399	31.2%	2,787	33.5%	+388	+16.2%
販管費及び一般管理費	2,573	28.1%	2,735	35.5%	2,651	31.9%	△84	△3.1%
営業利益	207	2.2%	△299	—	152	1.8%	+452	—
税引前当期利益	207	2.3%	△311	—	122	1.5%	+434	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	220	2.4%	△190	—	128	1.6%	+319	—

四半期別売上収益推移

- 当社の売上収益はイベントが多い下期に偏重する傾向があることから、特に第1四半期は、例年通期業績予想に対する進捗率が低水準となる一方、進捗率は下期にかけて計画通りに上昇していく見込み。※



※本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、中東情勢を含む国際情勢の変動や経済環境の変化等により、実際の業績はこれらの見通しと異なる可能性があります。

事業領域別の売上収益増減（計画比）

（単位：百万円）

事業領域	事業種別	主なサービス	売上収益	進捗 (計画比)	業績要因
マーケティング 事業領域	プロモーション事業	プロモーションサービス BPOサービス	4,343	○	・おもに外食顧客において、国内および海外店舗でのキャンペーンの受注が好調に推移し、計画比で増収。
	流通エンタメ事業	PMDサービス	1,675	○	・おもにコンビニエンスストアにおいて、キャンペーンの受注が拡大するとともに、物販も好調に推移し、計画比で増収。
エンターテインメント 事業領域	フードエンターテインメント 事業	テーマカフェサービス	1,130	△	・POPUP型店舗が堅調に推移した一方、常設型店舗において一部計画を下回ったことにより、計画比でやや減収。
	催事事業	催事物販サービス	107	○	・海外催事において、国際情勢の影響を受けて案件の中止が発生したものの、国内催事の案件実施等により、計画比で増収。
マーチャンダイジング 事業領域	ODMMD事業	ODM・OEMサービス	450	×	・海外顧客に対して、国際情勢の影響を受けて一部商品の納期ずれ込みが発生し、計画比で減収。
	エンタメMD事業	限定流通サービス 自社くじサービス	934	○	・おもにテーマパークや商業施設におけるイベント「推しの場」の展開拡大により、計画比で増収。

※その他売上収益は省略しています。



<ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。
市場環境等の様々な要因により、実際の業績はこれら見解、見通し、ならびに予測等と大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。